

第15回地本定期大会を開催!

**加藤誠二さんと美世志会の完全無罪・早期職場復帰をかちとろう!
「リニア」構想反対! 職場からの闘いで組織拡大を実現しよう!**

7月12日、JR東海労新幹線関西地本は、東淀川人権文化センターにおいて第15回定期大会を開催しました。大会は、代議員と多くの傍聴者、来賓が参加する中、久保木副委員長の開会の挨拶で始まり、議長団に小枝代議員（大一両分会）、椴木代議員（地区分会）を選出し進められました。そして、代議員から積極的な発言を受け、各部答弁と湊書記長が総括を行い、康乗副委員長の閉会挨拶、船出委員長の団結ガンパローで終了しました。



船出委員長あいさつ(要旨)

この一年間、大変ご苦勞さまでした。私たちは全組合員と共に、職場を中心に地域から弾圧をはじめ、加藤誠二さんの完全無罪と早期職場復帰をかちとる闘い、さらには安全確立の闘い、平和と民主主義を守る闘いを展開してきた。

今後の第一課題は、弾圧をはじめとした、加藤誠二さん、美世志会の完全無罪・早期職場復帰をかちとる闘いです。名古屋地裁は、第一審の刑事・民事裁判で不当判決を下しました。控訴審において、やりきることをすべてやりきり、加藤誠二さん、そして美世志会の完全無罪・早期職場復帰をかちとる闘いを全組合員で推し進めよう。

第二の課題は、「リニア中央新幹線」構想反対の闘いと安全確立の闘いです。第24回本部大会で「リニア中央新幹線」構想反対の方針が決定されました。反対する根拠を明確にして職場から闘っていこう。7月1日から車両所の「組織改正」が実施されました。そして、台車検査車両所、修繕車両所での効率化が実施されようとしています。会社の目的は生産性向上と労務管理強化にあります。先日、鳥飼基地で運転士訓練中に車両が動き、歯止め割損、03侵入事故が発生したが原因を明らかにしていません。安全確立と安心して働ける職場にするために闘っていこう。

第三の課題は、すべての闘いを組織強化・拡大に向け、職場闘争をさらに強化することです。来年、地本結成15年を迎えます。1991年、「東海の地に労働運動の火を」合い言葉にJR東海労を結成し、職場で労働者としての当たり前の闘いを実践してきました。職場には、不満と要求が山積みされています。職場の主人公として会社に要求していこう。

多くの来賓の皆さんに参加していただきました

中浜実高槻市議、滝ノ上茨木市議、大阪シーサー会塚元代表、JR総連加藤共闘部長、JR貨物関西地本定国書記長・村上書記次長、JR西労関西地域本部霜藤副委員長、JR東海労本部鈴木委員長・木下副委員長・藤広副委員長・小林書記長・斉藤組織部長・加藤教宣部長・上杉組織担当部長・柳楽業務部長・竹本研修サークル部長、JR東海労新幹線地本成田委員長、JR東海労静岡地本山本委員長、JR東海労名古屋地本今井副委員長・堀部教宣部長、JR東海労OB会中崎副会長・東会員、鉄道ファミリー石川取締役営業部長



代議員発言（項目）

- ・ 反弹圧の闘い、加藤誠二さん、美世志会の完全無罪・早期職場復帰を勝ちとる闘いについて
- ・ 「リニア中央新幹線」構想反対について
- ・ ボーナス、昇給カットについて
- ・ 専任社員雇用条件について
- ・ 安全問題について
- ・ 平和問題につて
- ・ 休日出勤、特休買い上げについて
- ・ 車両所の「組織改正」について
- ・ 組織の強化拡大について
- ・ 異常添乗について
- ・ 支援連帯の闘いについて

湊書記長総括答弁（要旨）

私たちは職場からの闘いによって、会社の組織攻撃をはね返している。夏のボーナス・昇給カットが他地本に比べて多いが、それは東海労組織の分断・破壊という会社の思惑がある。

組合組織の団結をさらに打ち固め、さまざまな闘いにおいて、今以上に他労組や地域への働きかけができるように指導部と組合員の強化を勝ちとろう。

職場における労働者の共通の諸問題で具体的に要求にし、組合運動を広範に展開しよう。

加藤誠二さんの不当解雇から2年、怒りをもって控訴審における闘いと反弹圧の闘いを全国の仲間と共にさらに押し進めよう。